

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		広聴活動事業						予算事業名		広聴活動経費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分						
				02	01	03	1101	経常経費	根拠法令					
総合計画体系		5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)							事業の区分		主要事業			
		5-1市民・企業・行政がともに支えあう体制づくり (市民参加・広									重点事業			
		②広聴広報の推進							担当課係等		秘書課			
2広聴活動の推進							秘書係							
事業期間		継続 (年度～ 年度)												
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
市民ニーズの把握や市民の行政参加機会の拡充を図り、市政に反映させて、住みよい街をめざす。							市民の意見、提言等を市政に反映させるために、各種方法により実施している。							
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】							
・「要望書」「市長へのご意見箱」の受理及び担当部署との連絡調整							・市民							
・「市長と語る対話集会」「市政懇談会」の開催及び担当部署との連絡調整														
・自治協力員に関する事務							【事業をとりまく環境の変化】							
							市民から行政への要望は年々増加する傾向にあり、その内容も多岐にわたっている。							
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】						
・「要望書」「市長へのご意見箱」の受理				・「要望書」「市長へのご意見箱」の受理				・「要望書」「市長へのご意見箱」の受理						
・「市長と語る対話集会」「市政懇談会」の開催				・「市長と語る対話集会」「市政懇談会」の開催				・「市長と語る対話集会」「市政懇談会」の開催						
・自治協力員に関する事務				・自治協力員に関する事務				・自治協力員に関する事務						
■事業費														
				R01年度		R02年度								
財源内訳	国庫支出金			0		0								
	県支出金			0		0								
	地方債			0		0								
	その他			0		0								
	一般財源			484		9,425								
歳入計 (千円)				484		9,425								
歳出内訳	節 (番号 + 名称)				金額 (千円)		金額 (千円)							
	07 報償費				99		8,957							
	10 需用費				0		7							
	11 役務費				54		116							
	18 負担金補助及び交付金				331		345							
歳出計 (千円) (A)				484		9,425								
伸び率 (%)						1,847.31								
備考	総合計画134ページ 予算書36～37ページ													

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	市長と語る対話集会の開催	回	目標	3.00	3.00	3.00
	自治組織や各種任意団体を対象に、7月・11月・2月の年3回行う。		実績	0.00	0.00	0.00
	市政懇談会の開催	回	目標	5.00	5.00	5.00
	地区毎（結城・絹川・上山川・山川・江川）に開催し、要望・意見を聴取する。		実績	5.00	0.00	0.00
成果 指標	市長と語る対話集会申込団体数	団体数	目標	5.00	5.00	5.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	複雑多様化している市民からの要望や意見を聴取し、市の政策に反映させるために必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政にしか実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	文書・メール・投書など、時代や個人にあった様々な手法・手段で広聴活動が実施できている。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	要望書やご意見箱への意見などに対するものであり、削減の余地はない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	子どもから高齢者まで幅広く対象としているため、偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	市内の課題や問題の意見を聴くことができ、事業成果として有効である。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	市民の意見を聴取し政策に反映出来ているが、市長と語る対話集会など申し込みが少ない状況にある。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
各所管課において、迅速な対応が必要なものについては、当課への処理報告を速やかに行い対応が来ている。事業全般を通じては、青年・壮年層の提案が・意見が少ない状況である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
団体・個人の意見を幅広く聴けるように、申し込みが少ない「市長と語る対話集会」については、実施方法の改善を検討する。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
方向性の具体的内容 市政懇談会については、新型コロナウイルス感染症対策（新しい生活様式）を踏まえた実施方法を検討する。また、市長と語る対話集会については、申込数が少ないことに加え、要望の機会になりがちであったことを鑑み、テーマを決めたうえで募集を図り、今後の市政運営への情報収集の場と位置付ける。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。